

平成31年度予算

町民の皆さまを 幸せにする第一歩



子育てにやさしいまちづくり

●第3子以降出産・入学等祝金で1人あたり100万円を支給します

子育て世代の移住・定住の促進と少子化対策として、第3子以降の出産時および小学校入学時、中学校入学・卒業時に、1人あたり総額100万円相当の祝金等を支給します。
※平成30年4月から平成31年2月までの出生数はわずか41人。多古町では少子化が深刻となっております。



●病児保育施設を整備します

子どもが病気になった時に保護者が仕事などで保育できない場合、一時的な保育に対応できるよう、多古中央病院敷地内に病児保育施設を整備します。



県内初!!

●高校生まで医療費を助成します
0歳から高校生等までの子育て世帯のさらなる経済的負担軽減と、児童の健全育成を図るため、医療費の無償化を引き続き実施します。

医療費ゼロ

●幼児教育の無償化を実施します

10月より3歳から5歳児のいる全世帯および0歳から2歳児のいる住民税非課税世帯の保育料の無償化を実施します。なお、無償化に伴う町負担は、国の子ども・子育て支援臨時交付金で賄われます。



●産前産後のサポートケアを実施します

妊娠期から就学までの切れ目のない母子支援を図るため、助産師による相談や訪問などの産前産後サポートケアを行います。



●小児の予防接種費の無償化を実施します

小児期における子育て世帯のさらなる経済的負担軽減と、感染症のまん延を防ぐため、おたふくかぜなどのワクチン予防接種費の無償化を実施します。



●学校給食費の無償化を引き続き実施します

給食費ゼロ

保護者の経済的負担を軽減し、子育てを支援するとともにさらなる教育の充実を図るため、学校給食費の無償化を引き続き実施します。

多古町の子育てにやさしい3つの「0」

- 待機児童「0」**
対象：0歳～小学生
多古町は今までもこれからも待機児童は「0」人です!
- 高校生まで医療費「0」**
対象：0歳～高校生
高校生までの保険対象医療費の自己負担額が「0」円です!
- 給食費「0」**
対象：小学生～中学生
小学校、中学校へ通う子どもたちの給食費は「0」円です!

住み良い町 安心・安全な まちづくり

●防犯カメラを設置します

犯罪や事故の未然防止を図るため、防犯カメラを多古台バスターミナルと観光トイレ、久賀・中村・常盤学童保育所に設置します。また、地区等が設置した防犯カメラの設置費用の3分の2を補助します。



●公用車全車にドライブレコーダーを取り付けます

防犯対策として、町内を走行する公用車全車にドライブレコーダーを取り付けます。

●住宅施策に対する補助金を交付します

町民の居住環境の向上や移住・定住を図るため、一定の要件を満たした方に対し、住宅取得奨励金、住宅リフォーム補助金、住宅耐震診断・耐震改修補助金を交付します。また、空家対策として空家バンクを開設し、空家の活用を促進します。



新たな まちづくり

●新たなまちづくりを目指す各種計画を策定します

成田空港のさらなる機能強化や圏道整備に伴う「ひと・もの」の環境の変化ならびに人口減少・少子高齢化の進展など社会情勢は大きく変化しています。まちづくりの今後展望すべき行政運営の指針である総合計画や総合戦略などの各種計画の策定を行います。

●デマンドタクシーを平日に運行します

高齢者の「交通の足」を確保するため、7月から平日に拡大し、4日間(月・水・金・土)デマンドタクシーの試行運転を行います。

●移住・定住の促進を図ります

移住・定住の促進と交通便利性の向上を図るため、引き続き空港シャトルバスの運行を行います。また、移住・定住の促進を促すPR動画の作成や電車、バスなどにPR広告を掲出するとともに、モニターツアーなど各種移住・定住促進事業を実施します。



その他にも

●共同利用施設の空調設備の機能回復工事を実施します

共同利用施設の空調設備の経年劣化などにより、計画的に機能回復工事を行っています。本年度は、林、水戸、船越共同利用施設を実施します。

●第一小グラウンド脇にトイレを整備します

陣屋跡を訪れる観光客の利便性向上を図るとともに、災害やイベントなど多目的に活用できるトイレを第一小グラウンド脇に整備します。

●プレミアム商品券を発行します

消費喚起を促すため、低所得者および0歳から2歳児の子どもを育てる世帯に対し、10月からの消費税増税に合わせてプレミアム商品券を発行します。

●常磐小と第一小の統合にむけて準備を進めます

閉校記念実行委員会への助成や遠距離通学に伴い通学バス2台を購入します。